

誰でも利用できる植物標本庫 オープン・ハーバリウム

～北海道大学総合博物館 植物標本の展示がリニューアル～

【概要】

北海道大学総合博物館常設展示 生物標本の世界（3階 S302号室）内の、植物標本に関する展示がリニューアルされました。今回の展示「オープン・ハーバリウム」には、標本棚と机が設置されています。標本棚の中には、館内行事を利用して北大キャンパス内で採集された標本や、総合博物館陸上植物標本庫（SAPS）の標本整理過程で廃棄せざるを得なかった標本が配架されています。これらの植物標本を、来館者の皆様が自由に閲覧することができます。将来的には北大キャンパスに生育する全種類の植物の標本を収集することを目標としており、これによって来館者がキャンパス内や札幌市近郊に分布する植物の名前や形が調べられるようになるはずです。

【プロジェクト開始に至った経緯】

北海道大学総合博物館は2016年にリニューアルが行われましたが、この時に目立った改訂が行われなかった展示がいくつかあります。常設展示3階 生物標本の世界（S302号室）内の植物標本に関する展示もその1つです。このため、分類体系などをはじめとした展示内容が多少古くなっており、更新が必要でした。標本やパネルの入れ替えを試みたものの、現在の総合博物館の展示と比べて多少地味になりがちでした。そこで、2019年から、植物標本の展示リニューアルに着手しました。

【内容・対象・意義】

ハーバリウムとは、植物標本庫のことです。大学、博物館、植物園などが所有し、その中には数万点を超える標本が保管されています。これらの標本を用いることで、雪が降り積もる冬の札幌であっても、植物の形態や分布を手軽に調べることができます。また、多くの植物図鑑や論文が、植物標本庫に蓄積された標本に基づいて執筆されてきました。今日、私たちが身の回りの植物の名前を簡単に調べることができるのは、すべて植物標本のおかげです。

しかし通常、標本の損傷や虫害の防止等の観点から、植物標本庫が展示として公開されることはありません。また、退色や虫害による損傷のため、植物標本を展示しようと思っても、期間・種類・点数が限定されてしまうといった問題もあります。標本を守るためには仕方がないことではありますが、これらの特徴は標本や植物標本庫の教育・普及に大きな負の影響を与えているように思います（植物標本を見たことがある方は、昆虫標本や化石を見たことがある方に比べてずっと少ないはずです）。

そこで今回のリニューアルでは、展示のための標本庫を一から作ることに挑戦しました。普通の植物標本庫と同じように、展示室には机と標本棚が設置されています（図1）。来館者は、標本棚の中に配架された標本を自由に取り出し、閲覧することができます。初心者でも利用しやすいよう、パネルには標本の閲覧・利用方法を記しました。誰もが自由に利用できる開かれた植物標本庫になることを目指し、この展示には「オープン・ハーバリウム」と名付けることにしました。

標本棚の中には、展示専用の標本が入っています。まず、当館の博物館実習、パラタクソノミスト養成講座、ボランティア活動を通してキャンパス内で植物採集を行い、展示専用の植物標本を新たに

作ることになりました（図2）。また、未整理標本の整理過程で生じてしまう廃棄せざるを得ない植物標本も利用することになりました。虫害が酷い標本や、採集地や採集日といった重要な情報が欠けた標本は、残念ながら通常の植物標本庫で保管する価値がありませんが、特に後者の標本は、展示には十分に利用できると考えました。

名前がわからない木や草を見かけたとき、植物図鑑を調べてもよくわからないことがあると思います。実は研究者でも、似たような状況によく出くわします。このような時、研究者は、植物標本庫に収蔵された現物（つまり標本）を参照して、図鑑に掲載された写真や文章といつでも比較することができます。今後は、一般来館者の皆さまにもオープン・ハーバリウムを利用して、同様に標本を参照していただくことができるようになります。ただし、実際には、この展示を利用して植物の和名や学名を調べるにはそれなりの知識や経験が必要です。通常の植物標本庫と同様に、棚の中で標本は科ごとにまとめられ、体系順（大雑把に言えば植物が進化した順番）で配列されているためです。まずは、種や科を決めずに気軽に標本を出して、植物の形やラベルを眺めて楽しんでいただくといいと思います。

※植物標本は破損しやすいため、パネルの内容を守って、できるだけ丁寧に扱ってください。

【今後の展望】

現時点では、標本棚に配架されている標本はまだ多くありません。今後も標本を収集・蓄積し、将来的にはキャンパス内生育するほぼ全種類の植物の標本を揃えたいと考えています。達成できれば、キャンパス内や札幌市近郊で観察したほとんどの植物を気軽に調べられるようになります。

【開始時期及び展示改訂に関連する館内の事業】

7月20日（火）に展示を開始し、常設展示となる予定です。その後、北海道大学総合博物館パラタクソノミスト養成講座（植物初級・中級）では、オープン・ハーバリウムに配架する植物標本の採集や作成を行う予定です。興味のある方は、ぜひご応募ください。

【参考図】

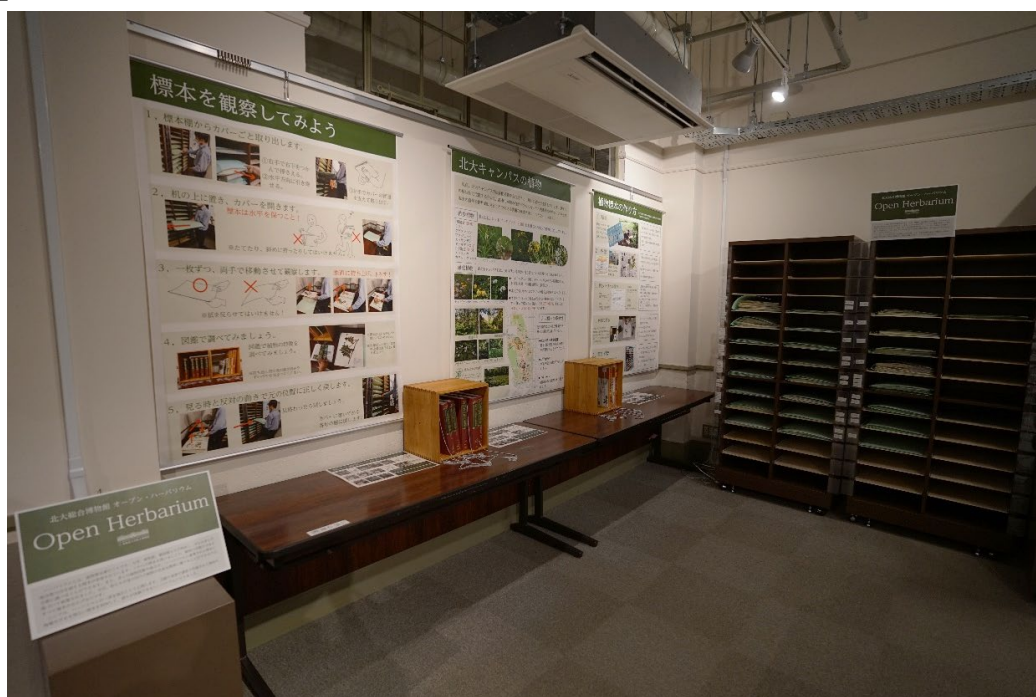


図1. リニューアル展示「オープン・ハーバリウム」の様子



図 2. オープン・ハーバリウムに配架されたエゾエンゴサクの標本

お問い合わせ先

北海道大学総合博物館 助教 首藤光太郎 (しゅとうこうたろう)

T E L 011-706-4508 F A X 011-706-4029 メール shutoh@museum.hokudai.ac.jp

U R L <https://www.museum.hokudai.ac.jp/>

配信元

北海道大学社会共創部広報課 (〒060-0808 札幌市北区北 8 条西 5 丁目)

T E L 011-706-2610 F A X 011-706-2092 メール jp-press@general.hokudai.ac.jp